とまこまい市議会だより

第13回 定例会を開催いたしました
（平成29年12月7日㈭～15日㈮）

第21号 平成30年2月10日発行

こども議会開催 平成30年1月27日㈯

会派：大器晩成

会派：苫良会

会派：苫小牧応援の会

■ 編集・発行・お問合せ先
苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会
〒053-8722　苫小牧市旭町4丁目5番6号　TEL 0144-32-6785　FAX 0144-33-1839

検索は
苫小牧市議会 検索

ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業などの補正予算が可決！

（議論の内容については各委員会、会派記事などを参照願います）

平成29年度 苫小牧市一般会計補正予算（第5・6回）

平成29年度歳入歳出の総額に
9億7,296万6千円を追加し
歳入歳出の総額を
775億5,119万6千円としました

注目の

ユニバーサルデザインタクシー導入支援事業

市内タクシー事業者4社に5台分　50万円

健康な方、高齢者、車いす・ベビーカー利用者、妊娠中の方などや大きな荷物を持った外国人旅行者なども利用できる“みんなにやさしい新しいタクシー車両”で、国と市が導入の補助を行うことが決定。

緊急雇用対策事業

3,900万円

冬期間の雇用対策として苫小牧市が単独で行う事業で、市道の清掃や交差点、通学路の雪氷除去作業をはじめ、市道の街路樹の剪定および市内各所にある300公園において、支障となる樹木を対象に剪定と伐採を行う。

米軍再編関連訓練移転等交付金事業一覧　9,277万3千円

事業名	事業内容	交付金対象事業費
スポーツ施設整備	総合体育館ロッカー・卓球台等整備、沼ノ端スポーツセンタートレーニング器具等整備など	3,812万1千円
沼ノ端駅周辺地域防犯カメラ設置事業	沼ノ端駅周辺及び市道沼ノ端北大通り等防犯カメラ設置	807万7千円
避難所Wi－Fi整備事業	東部地域9小中学校Wi－Fi環境整備	1,634万円
母子保健測定機器等整備事業	乳幼児デジタル身長体重計等整備	678万円
消防施設・装備等整備事業	可搬式一時貯蔵タンク整備	243万7千円
小中学校トイレ洋式化事業	東部地域6小中学校トイレ洋式化工事	2,101万8千円

・千歳基地離着陸における航路下が対象（東部地域、沼ノ端・勇払方面）

第2学校給食共同調理場の民間委託（調理等業務）の決定について

委託金額　1億9,355万3千円（消費税及び地方消費税含む）
期　　間　平成30年度（2018年度）～平成32年度（2020年度）

学校給食共同調理場運営審議会から平成28年6月に答申をいただいたことを受け、公募型プロポーザル方式※1により受託事業者を選定し決定した。

※1 公募型プロポーザル方式／主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること

平成29年度 苫小牧市立病院事業会計補正予算（第1回）

医局棟増築実施設計費　1,897万6千円

平成18年10月の病院移転新築時に医師数が51名だったのに対し、28年度末現在では81名となっており30名の増員となっている。このため医師の勤務環境の改善を図り、今後の医師確保また、圏域における中核病院としての役割を担うため医局棟を増設する。

なお増設する医局棟は3階建てを予定し、医局棟の完成後は、本院の1階の空きスペースを活用し（仮称）入退院支援センターを設置する予定。

■ 苫小牧市税条例等の一部を改正する条例について

国民健康保険税の課税限度額を
現行の81万円から89万円に引き上げる（経過措置期間有）

・対象所得額がありますので、4月以降に国保課ホームページや 電話でご確認ください。
直通電話 0144－32－6418

■ 国と関係機関に提出しました

○ 統一地方選挙に係る制度の見直しを求める要望意見書
○ 地域医療を守るよう求める要望意見書

■ 人権擁護委員が決定しました

岡田秀樹氏　二階堂久美子氏
三隅雅彦氏　佐藤守氏
齊藤裕子氏

常任委員会

消防署日新出張所 2018年解体工事着工 2020年3月末新庁舎完成へ

総務委員会

冨岡　隆　委員長

１９７８年に建設された消防署日新出張所建替え事業にかかわる解体工事および改築工事期間中の災害対応について報告があり、解体工事は２０１８年から開始し２０２０年に本格運用となっています。現在ある日新出張所に配置している「消防隊」、「救急隊」は錦岡出張所、新富出張所にそれぞれ配置し、日新出張所で行っていた業務や災害対応を行います。

消防署日新出張所

その他、平成29年12月に発生した大町の火災について報告があり、委員から火災で住居を失った方への対応や繁華街における火災防止策について質疑が交わされ、消防として防火パトロールや厨房などの点検も含め注意喚起を進めていくことが示されました。

アスベスト飛散による 市民の健康への影響を懸念

厚生委員会

松尾　省勝　委員長

旧トマモール解体工事に伴い、建物には、アスベスト(石綿)が使用されていることが判明されており、解体工事の工程が法令に従い平成28年12月から平成29年末までの工期で予定され工事が行われていました。しかし、アスベスト除去作業による「飛散防止」の措置について、市民から通報が寄せられ、市と労働基準監督署が立ち入り調査し、是正指示をするが、改善が見られなかったため、作業停止を命じました。

この報告を受け、委員からは、ことの重大性を認識できておらず、早急に対応すべきこととしながら、場当たり的な対応に終始しているなど重大な問題であるとの指摘がありました。

市側は、地域住民の不安解消に向けた改善策を事業社に強く求めていくとしました。

旧トマモール解体工事

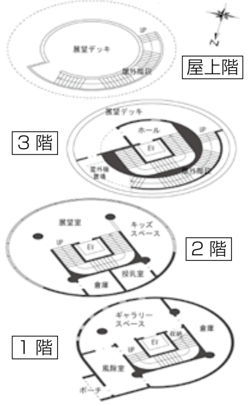
ウトナイ交流センター展望施設 平成30年度内に開設

文教経済委員会

宇多　春美　委員長

苫小牧市中小企業振興計画㈭策定については、中小企業振興のための3つの柱に基づき40事業の施策を整備。小規模企業者(中小企業の約9割を占める)についても振興に取り組む、人材確保に関しては研修会等の支援策を進める、事業主に対しても活用できるものを盛り込む、障がい者雇用に対しても関わる事業や助成についても計画に入れ進めることなどが質疑されました。

ウトナイ交流センター展望施設整備事業の概要については、地域の要望や環境省・ウトナイ湖サンクチュアリとの検討を踏まえ、自然環境との調和を図りながら、集客力向上による地域活性化を促進することが目的の事業で、屋上展望デッキもある高さ17ｍの3階建となります。



ウトナイ交流センター展望施設 平面図

苫小牧市営住宅整備計画㈭は 閉会中に継続議論

建設委員会

越川　慶一　委員長

市営住宅は、8割以上が昭和60年までに建設されており、建物の老朽化が著しく将来の人口動向および財政状況を踏まえると、管理戸数の適正化を図るとともに、安全で安心な住環境整備を行う必要があることから、苫小牧市営住宅整備計画㈭が示されました。各委員から追加の資料要求もあり、さらに慎重な議論を行うため、1月29日の閉会中に改めて委員会を開催することになりました。

苫小牧市営住宅

また、平成29年10月の台風21号の影響による強風で、日新町の市営住宅において自転車置場が損壊し、付近に駐車していた車両2台に接触、損傷を与えた件について、発生原因や被害者との対応を含む事故後の処理および今後の対応について説明を受け議論しました。

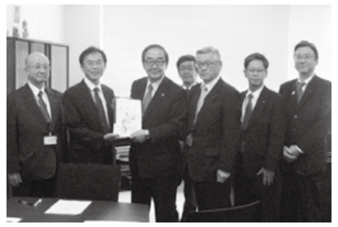
特別委員会

地元関係機関が 合同で要望活動

総合開発特別委員会

林　光仁　委員長

6つの所管事項について説明および質疑がありました。このうち中央省庁への「要望の結果について」は29年度より地元関係機関が一体となって合同で要望活動を実施したことを報告しました。そのほかに「米軍再編に伴う米軍機訓練移転について」「航空機事故関連について」「北海道における空港経営改革について」「統合型リゾート(ＩＲ)について」「ガントリークレーン2号機の故障等について」の説明がありました。さらに戦闘機・民航機の部品落下事案や機関けん銃弾誤発射事案および市西部地域の低空飛行ヘリ騒音と統合型リゾート(ＩＲ)について、質疑が行われました。


国等への要望活動

(仮称)苫小牧市民ホール建設 基本計画㈭が示される 安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

岩田　薫　委員長

所管事項は3件あり、㈱セコマとの災害時応援協定の締結と、11月18日に元町沖合で発生した、貨物船「栄丸」の座礁事故について報告がありました。

(仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画㈭が示され、施設の設備、予定地選定の手続き、民間活力の導入などについて6人から質疑が交わされました。

市側から今回の質疑内容と、今後行われるパブリックコメントの意見を基本計画に生かしていくとの答弁がありました。

その他では、被災者支援システム、避難所へのWi－Fi整備、防災ハンドブックについて質疑が交わされました。

(仮称)市民ホール建設検討委員会及びワーキンググループ合同会議

新年明けましておめでとうございます

苫小牧市議会議長　木　村　司

市民の皆様に市議会を代表し、心より新春のお喜びを申し上げます。

今年は、北海道開基１５０周年・苫小牧市制70周年の節目の年を迎えます。新たな一歩を踏み出し、輝かしい未来に向けたスタートの年になるよう祈念するところです。

また、今年は、平昌冬季オリンピック・パラリンピックの年でもあります。本市からも女子アイスホッケー・スマイルジャパンを始め多くの選手や関係者が参加することになっております。ご活躍・ご健闘を期待しております。

また、今年の市議会は、長年に渡って積み上げてまいりました議会改革を後退させることなく、議会のあるべき姿を議論し、議会基本条例の策定に向け着実に進んでいく所存であります。

地方自治においての二元代表制の一翼を担う責任を自覚し、市民の皆様の期待に応えられる議会となるよう努力してまいります。

結びに、市民の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の決意とご挨拶にさせていただきます。

議会改革検討会

議会改革検討会では、議会基本条例制定に向け、前文と体系図について議論を続けました

議会基本条例前文については、条例作成の意義や議会の現状、今後のあるべき姿を明らかにし、市民の皆様に議会の意思や、決意を示す重要な部分です。今回は、前回各会派から伺った意見に基づき正副議長案が示され、各会派からの意見の集約を進めました。

また、体系図については、政務活動費や議員の倫理規定、議員間の自由討議など条例に条文として盛り込むべきかどうかで、各会派の意見がわかれていることから、検討会での論議を踏まえ、今後、条例の素案作成・スケジュール案についても話し合っていくことになりました。

緑　　風

矢嶋　翼・岩田　典一・木村　司
竹田　秀泰・板谷　良久

矢嶋　翼 議員

☆新しい**市民ホール建設検討**の中で、市民から63の事業アイディアが出され、現在の市民会館でも取り組める事業もあるので今から実施してはとの質問に、プレ事業として検討すると答弁がありました。

☆昭和47年製作の**科学センター外壁**の谷内六郎氏原画の硝子タイルモザイク画が崩れてきており、修復や将来の保存の道筋を考えるべきとの質問に、教育部内で検討すると答弁がありました。

☆**生徒の通学カバン**が重すぎ、体の負担になっている。学校側はこれを問題視せず、この点を改善すべきとの質問に、国も軽い教科書作りを進めており、可能な限り工夫すると答弁がありました。

岩田典一 議員

☆総務委員会で新しい**苫小牧市総合計画(素案)**が示され、人口減少と少子高齢化が同時に進む時代に、ふくしのまちづくりは大変重要であると考えます。私は、「ふくし」を進めるには、地域ボランティアとの協働が大切であると思い、この基本構想の施策の中で、ボランティアの位置づけについて質問しました。質問に対し市は「活動者の自主性を尊重したボランティアの発掘・養成に努めると共に、ボランティア団体や、NPO法人の活動を支援し、各種ボランティアとの協働作業で地域ふくしの担い手となる協働パートナーとしての位置づけを明記した」と答弁がありました。

私は、市民活動によってさらなる「地域のふくし力」が広がることを期待しています。

木村　司 議長

☆12月の**議会改革検討会**では、苫小牧市議会として、制定を目指している苫小牧市議会基本条例について議論を続けました。前文は地方自治の置かれた現状などを踏まえた議会としての役割とその役割を踏まえた苫小牧市議会の目指すべき姿・決意を市民の皆さんに示すものであります。素案を正副議長案としてお示しし、検討を重ねました。また、全体像の骨格である、体系図についても各会派の案と内容を含め検討をし、制定・施行までのスケジュールについても議論をしました。

2月議会には、前文をお示しすることが出来ると思いますし、体系図・スケジュールなども固まってくるものと考えております。

竹田秀泰 議員

☆**保育園待機児童対策**について質問し、計画整備を行い31年度までに1・2歳児の待機児童解消に目途がつくと答弁がありました。

☆**小学校の英語授業増**に対する考え方を質問し、30年度に外国語指導助手1名を増員予定と答弁がありました。

☆特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向に対する考え方を質問し、30年度に**特別支援教育支援員**3名の増員計画と答弁がありました。

☆**都市公園法改正**により、公募設置管理制度が新設され、緑ケ丘公園や出光カルチャーパークにレストランなどが、民間の力で建設できるようになり、市の考え方を質問し、検討を始めていくと答弁がありました。

板谷良久 議員

☆**IR(統合型リゾート)投資意向調査**の進捗状況について質問し、29年度中には苫小牧市IRマスタープランの素案が提示されることが明らかになりました。

☆**緑ケ丘公園**のスポーツ施設運営期間とゲートの開閉がリンクしていないことを指摘し、市はスポーツ施設と公園施設の管理を一元化することについて検討することが明らかになりました。

☆老朽化が著しく、不便な場所に設置されている**スケートボード場**を、現在廃止されているハイランド屋内リンクに移設し、跡地を駐車場とすることを提案し、市は公園全体の利用計画の中で検討していくことが明らかになりました。

公明党議員団

林　光仁・池田　謙次・藤田　広美
神山哲太郎・大西　厚子

■一般質問等(抜粋)

【池田　謙次 議員】

(仮称)市民ホールの予算と時期について、時期を延期することで、労務費や材料費などが下がる時期を見据えて工事を発注することで、多額の血税が浮く可能性について質問しました。

福祉行政で約3年間訴えてきた女性のための新たな**美容サービス**が30年度中にスタートすると答弁がありました。

29年12月から始まった**緑跨線橋工事の保証問題**について質問。

さらには、**北朝鮮のミサイル対応**としての、サイレンなどの警告発信について質問しました。

【神山　哲太郎 議員】

防災行政無線のデジタル化について、全体の事業費を市民に示すことや、屋外スピーカー設備の配置数の拡大を求めました。また、市民の中には防災ラジオを使っていない方もいることから、調査が必要と質問し、広報とまこまいなどで周知し、利用を促すとの答弁がありました。ほか、**コミュニティFM局、選挙制度や不育症について**質問しました。

防災ハンドブックについて、目や耳に障がいを持つ方や外国人居住者に対応した防災ハンドブックの発行を提案しました。今後、どのようなものが考えられるか早急に検討すると答弁がありました。

【大西　厚子 議員】

食品ロス削減について、パンフレットの作成、2510運動※2のグッズ作成、フードドライブの常設などを提案しました。消費者への啓発については策定中の「苫小牧市消費者教育推進計画㊟」に掲載すべきと考えていると答弁がありました。

男女平等参画の推進について、審議会などの女性委員の拡大と女性管理職登用拡大について求めました。

歩道の修繕について、補修延長の拡大と計画的な実施を求めました。

ほか、**自然木の剪定について**質問しました。

※2　2510運動(ニコとま運動)／宴会などで乾杯後の25分間と閉会前の10分間は料理を楽しもうという運動

【林　光仁 議員】

水道メーターの分解委託の進捗について質問。29年度中に3施設へ試験的に委託をし、30年度から段階的に進め、最終的には全てを委託したいと答弁がありました。

「**はつらつ体操**」の定着につて質問。地域包括支援センターにおいてDVDを作成し関係団体へ普及の予定。理学療法士の意見を入れた体操で、市として推進していくと答弁がありました。

訪問介護事業の新規人材の増員のための対策について質問。他市の成功例などを調査研究し、効果的対策を講じたいと答弁がありました。

避難所などへの**災害用ビブス配備について**質問。関係団体の意見を伺い導入したい。発注は優先調達を含め検討すると答弁がありました。

【藤田　広美 議員】

健康対策で39歳以下の**若者検診**を提案、受診機会の提供は重要として早期に実施したい。**健診とがん検診のセット検診**を提案、財源も含めて検討する。男性向けの**前立腺がん検診**の助成は研究する。**ワンコイン検診**は費用対効果も含めて検討すると答弁がありました。

教育では、**不登校対策**の連携強化にワンストップ化を提案、30年度から一元化して実施する。**コミュニティスクール**は地域と学校を繋ぐコーディネーターを配置する。

学校図書館司書は30年度に全小学校に配置し、その後中学校へ拡大したい。司書は中央図書館への民間委託を提案、調査研究をすると答弁がありました。

市立病院の医局増築の空きスペースに32年度(2020年度)上半期までに**がんサロン**を設置すると答弁がありました。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺　満
工藤　良一・冨岡　隆

一般質問

小野寺　幸　恵　議員

▼アスベストについて

トマモール（旧長崎屋）解体の際、アスベスト除去作業で法令違反が判明。『一時作業停止命令』が出された問題で、事の経緯と原因、健康被害などについて質問しました。

また、元請業者とアスベスト除去業者に対し謝罪と市民への説明責任を果たすよう求めたのに対し、市長は「大変遺憾。誠意を持って市民に説明する必要がある。しっかり伝えたい」と答弁しました。

さらに、「駅前のエガオを解体することになれば同様の懸念が生まれる」と指摘し、「二度と法令違反が起きないように、市長が強い姿勢で臨むことが必要」と、トマモール解体作業に際し毅然とした対応をするよう求めました。

▼C判定の市営住宅について

取り壊しが予定されているC判定の市営住宅の住民は、介護施設を申し込んでいる方もいるが、施設が当たるのが先か、住宅を壊すのが先か、不安を抱いている方がいること を紹介し、高齢者が多く、引越しが困難な状態であることから、福祉部との連携を提案しました。

福祉部長は、住宅課との連携の必要性を示し、「ケアマネージャーや包括支援センターとも連携し、個別に対応したい」と答弁しました。

冨　岡　隆　議員

▼明るい駅前について

平成27年12月議会で工藤良一議員が、暗い駅前を明るくするためにイルミネーションの設置を提案した際、副市長は「平成29年のクリスマスには、やっぱり17万都市の駅だと思ってもらえるように努力したい」と答弁したことを示し、「今年はやるのか」と質問しました。

市長は「費用がかかる問題なので今年は難しいが、任期中にしっかり道筋をつけることを約束する」と答弁しました。

▼ＪＲ路線廃止について

平成27年1月から運休している日高線について、全く改修していないことや、被害のない日高門別・むかわ間も運休していることを指摘し、「こんなことが許されるのか」と、日高線廃止に対し存続を求めるアンケートの声を紹介し、市長の見解を求めました。

市長は「残念としかいいようがない」との認識を示しました。

また、国の責任での復旧を求めたことに対し、市長は「国が財政支援をするように、もう少ししっかりとオール北海道で動いていく必要がある。そのために、道がリーダーシップを取る必要がある」と答弁しました。

委員会質問

工　藤　良　一　議員

▼ウトナイ展望施設について

道の駅ウトナイ湖に展望施設が作られることになったことを受け、市民や観光客への鳥インフルエンザの感染対策として、屋根つきの専用通路を作ることを提案しました。

市は建築基準法に抵触しないような施設を作りたいと答弁しました。

この他に「苫小牧市中小企業振興条例」、千歳基地所属の航空機が装備するミサイルの部品、長さ45㎝幅40㎝、重さ4.5kgの翼1枚を落下させ不明となっている事案と、９㎜機関けん銃弾を誤発射させた事案について、安全装置の使用や取扱い規則が徹底されているのか質問しました。

渡　辺　満　議員

▼自衛隊機等の飛行について

市は、「戦闘機などは市街地上空を飛ばない」と説明してきた経緯がありますが、戦闘機だけではなくオスプレイも飛行している実態があり、11月28日の夜には轟音をたてた陸上自衛隊のヘリコプターが飛行していたことを紹介し、現状把握を求めました。

また、これまで繰り返し市西部地域への騒音測定器の設置を提案してきましたが、財政的な理由から設置されませんでしたが、改めて設置を提案しました。

環境衛生部長は「私も自宅で騒音を経験した１人」と報告し、市東部地域に設置している固定騒音測定器を30年度に設置することが示されました。

※詳細は市議団HPを　http://toma-jcp.sakura.ne.jp/

民主クラブ

代表　西野　茂樹・副代表　小山　征三
幹事長　松尾　省勝・副幹事長　岩田　薫

一般質問（岩田　薫議員）

1　政治姿勢
⑴　第48回衆議院議員総選挙について
⑵　苫小牧市長選挙について
⑶　JR北海道単独維持困難路線について
2　安全・安心のまちづくり
⑴　災害対策について
⑵　消防署日新出張所の建てかえについて
3　職員の働き方改革について

岩田　薫　議員

★第48回衆議院選挙で、２名の議員が選出されたことは、国とのパイプ役としてこれまで以上に期待するとの答弁がありました。

★次期市長選について岩倉市長は、後援会の意向、公約の達成率、自分の考えを踏まえてしかるべき時期に態度を表明するとしました。

★ＪＲ問題では今後、状況変化があればこれまでどおり1市4町で協議していくとしました。

★安全・安心のまちづくりでは、災害時業務継続計画を見直すにあたり、実態や熊本市の対応など参考にするとしました。また、**大雨3ヵ年事業**では、市西地区での幹線整備が一定の効果があったことから、今後は、市東地区の整備に着手することとなりました。

一般質問（松尾省勝議員）

1　福祉行政
⑴　交通費助成制度について
⑵　2018年介護保険制度改正について
2　教育行政
⑴　中学校と町内会組織との活動連携について
3　交通行政
⑴　今後の地域公共交通について

松尾　省勝　議員
http://m-matsuo.jimdo.com/

★町内会活性化を次世代へ！

次世代を担う中学生が、地域との関わりを持つ大切さや、学校との地域相互の大きな財産となることについて質しました。

市側は、モデル地区を選定し、高齢化が進む町内会活動への参画も視野に町内会と中学校の協力体制を行うとしました。

★介護認定の適正化を！

２０１８年の介護保険法改正では、介護の関連施策の多くが改正されることになり、利用者が必要な介護サービスを受けられなくなる懸念があることから交付金の考え方を質しました。

市側は、利用者にあった適切なサービス利用の継続と介護認定に努めるとしました。

一般質問（小山征三議員）

1　政治姿勢
⑴　新年度予算編成について
⑵　新年度重点事業について
⑶　住民合意形成の手法について
2　違反建築物
⑴　建築基準法令違反について
⑵　消防法令違反について

小山　征三　議員
http://www.tomakomai.or.jp/koyama/

★ＩＲ誘致の意識調査を否定

市は「苫小牧市総合計画」や「ご当地ナンバーの導入」で、市民の意向や考え方を把握するためアンケート調査を行ったことから「ＩＲ誘致」に対しても市民がどのように受け止めているか、賛否ではなく意識調査のためにアンケート調査を実施すべきと提案しました。

しかし、市側は「十分にＩＲに関する情報を提供できない現状で、賛成、反対などの意見集約をしてもその指標を効果的に活用することは難しい」と答弁。岩倉市長は、ＩＲ＝カジノの看板があることを理由に「ＩＲに誤解がある」として、市民セミナーや出前講座を通じてＩＲの理解を深めたいとし、アンケート調査を否定しました。

建設委員会（西野茂樹議員）

★公住施設の老朽化対策を

市より、公住外壁落下事故に引き続き自転車置き場の損壊が報告されたことを受けて、施設の老朽化、安全点検について質問しました。

今回の損壊では人身被害はなかったものの、車両２台に損傷を与えました。

現状の安全点検、施設点検が不定期の状態であり、また、点検内容も目視に限られているなど点検の期間や内容について不十分であることを指摘するとともに、計画的な点検活動の実施とマニュアルの見直しを求めました。

市側からは、現状の体制を早急に見直し、計画的な点検計画の策定をするとの答弁がありました。

また、今回提出された、**苫小牧市営住宅整備計画(案)**について、２０１８年１月29日に、閉会中審査を行うこととしました。

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治

牧田俊之 議員

【市内バス路線について】「市民の足」となっているバス路線について、利用者の移動ニーズ、利用実態データから路線・運行ダイヤを検討することと「バスロケーションシステム」の導入について要望いたしました。

【跨線橋について】明野地域において4㎞に渡って立体交差が設置されておらず、宅地開発・多くの商業施設立地の現在、新たな立体交差の必要性について確認し、効果や災害避難路としての位置付けも含め調査・研究していくと答弁がありました。

【国際リゾート（ＩＲ）投資意向調査について】29年度行いました「投資意向調査」の結果について確認をしました。15社から提案があり最大3，500億円の投資規模の提案があったことがわかりました。

苫小牧市の国際リゾート構想策定に役立てるそうですが、市民理解が進むようにわかりやすいマスタープラン策定を要望いたしました。

首藤孝治 議員

【科学センターについて】昭和44年に開設した科学センターは築47年と老朽化が進み、現在、建て替えを含めた今後の「あり方」が検討されております。私はこの「あり方」の中に、科学センターと学校とのコラボレーションを提案しました。大学などのサテライトキャンパスを誘致し、科学センターと同一建物内に設置し、学生のアイディアなどを活用しながら、さらなる科学センターの発展に繋げることを議論し、市側からさまざまな可能性を含めて検討していくと答弁がありました。

【市民ホールについて】民間の力を活用することで魅力ある機能を集約し、なおかつ民間の投資により建設費用の節減に努める目的で、ＰＰＰ※3およびＰＦＩ※4方式の導入調査に早期に取組むべきことを議論し、市側から29年度中に聞き取りを行うと答弁がありました。

※3 ＰＰＰ／公民連携方式
※4 ＰＦＩ／民間資金等活用方式

越川慶一 議員

【総合体育館について】大規模改修の方向で検討している体育館ですが、改修工事の際には休館または閉鎖の可能性もあり、各種大会の開催や合宿誘致に影響が出ることを指摘したうえで、スポーツ施設の集積地である緑ケ丘公園内への移転を提案し「あり方検討の際は参考にする」との答弁がありました。

【市民ホール】市が考えている建設場所の東小学校敷地以外に、文化公園敷地内でも約4，000㎡の建物は建設できることが質疑で明らかになり、大小さまざまな機能・規模で建設・管理運営費用や周辺施設との相乗効果、津波浸水対策などの比較検討をすべきと提案。さらに街づくりの観点から東小学校・市民会館・文化会館敷地の土地に市民ホールと駐車場以外の中心市街地活性化に向けた利活用を考えるべきと指摘し「基本計画に関する建設場所や機能・規模など市民意見・提案は引き続き検討する。今後パブリックコメントの意見も反映できるよう十分考慮する」との答弁がありました。

松井雅宏 議員

【苫小牧中小企業振興計画(案)について】平成25年に苫小牧市中小企業振興条例が制定されて以降、本計画の策定の必要性を求めてきた一人として評価した上で、市の発注工事における下請けを含めた地元発注率の目標管理、中小企業のＩＣＴ化支援事業などを提案し、いずれも前向きな答弁がありました。

【肢体不自由特別支援学級について】現在、拠点方式として行われている西小学校の肢体不自由特別支援学級が、30年度から障がいの状況や保護者の意向に配慮し、より多くの選択肢の中から教育の場を提供するとした通学区域の変更について、各校教員に対する専門性向上の対策、未就学児の保護者を含めた不安解消を前提とした丁寧な説明、新たな福祉車両の導入の考え方について質し、いずれも努力していくとの考えが示されました。（文教経済委員会にて議論）

会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

谷川芳一 議員

■一般質問

1 保育行政
(1) 私立幼稚園の通園バス購入補助について
(2) 夜間保育の取り組みと実態について

2 貨物船座礁事故について

3 市民サービスの向上
(1) 庁舎内の保育・託児施設の設置について

4 通学路の安全対策
(1) 市民文化公園内でおきた事故について

5 美術博物館の美術品購入について

■本会議審議

補正予算
労働費 緊急雇用対策について、なぜ随意契約か、入札にすべき
教育費 学校トイレの洋式化について西部地区の実施率が低い
諸支出金 美原町土地の譲渡について、瑕疵担保責任など
債務負担行為 第2学校給食センターの業務委託について、食材調達まで広めてはと提案

■委員会質疑

総務委員会
1 新しい総合計画の策定状況について、新計画の中に同性婚を認めるような表記があるが、男女平等ならわかるが、誤解を与えないように答えてほしい

総合開発特別委員会
1 ＭＩＣＥ（マイス）※5とＩＲ※6の違いについて

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会
1 統合される施設の跡地利用はいつその方向性を出すのか
2 緞帳や檜の舞台板など旧施設から新施設に移すものはないのか

桜井 忠 議員

※5 ＭＩＣＥ／多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称
※6 ＩＲ／カジノを含む統合型リゾート

陽春

金澤 俊・宇多 春美

一般質問

金澤 俊 議員

○民間活力の導入としてＰＦＩ（民間資金等活用方式）事業の推進を!!

これまで苫小牧市では民間活力の導入として、指定管理者制度の導入60件をはじめ、事業の民間移譲や2，000件を超える業務委託を行ってきました。

しかし、ＰＦＩの導入は過去検討したことはあってもいまだ導入されておりません。

人口減少、税収減が見込まれ財政的にますます厳しくなることが予想される中、建設経費の抑制が図れるＰＦＩの導入を推進する必要性はますます高まっていると思います。

そこで、今回は市長からのトップダウンによる市役所組織横断的な取り組みを進めるよう提案しました。

これに対し、「今後、一定規模以上の施設建設案件について、ＰＦＩ導入の可能性を検討する組織横断的な検討会を立ち上げるなど、ＰＦＩ導入を推進する体制を整えることも検討したい」との答弁がされました。

今後も市役所内検討組織の早急なる立ち上げを求めていくつもりです。

宇多 春美 議員

○「日本女性会議2017とまこまい」は、多くの市民・団体、企業、行政が参画され大成功裏に終えました。これを契機に、総合計画および男女平等参画基本計画に**男女平等参画**に対する施策を取り入れることを質しました。

○**地域若者サポートステーション**は、働くことに悩みを抱える15歳から39歳までの若者に就労支援を行うが、相談支援、職場体験・就職支援、スキルアップ事業を充実させ、市をはじめ関係機関などが連携し就労に結びつくよう質しました。

○毎年11月の**子ども虐待防止「オレンジリボン運動」**の啓発は30年度から庁舎内で**市民参加型啓発**活動をすることを提案しました。

○**小中一貫教育**は地域と共に学校運営にあたる**コミュニティスクール**が重要であることを質し、30年度からモデル校を指定すると答弁がありました。

スポット

昨年行われた議会だよりフリートークの様子といただいたご意見 etc.

第3回 議場コンサート

入場無料

市議会定例会初日に議場コンサートを開催します。
今回は、江差追分熟年全国大会で優勝された石垣 博さんによる歌をご披露します。
議場に響き渡る迫力ある江差追分を肌で感じてください。

日時 平成30年2月23日㈮　12:15~12:45

※当日は議会を傍聴される方、議場コンサートにお越しの方にも
どちらか1回「50とまチョップポイント」を付与いたします!!

場所 市役所11階　本会議場

◆曲目：江差追分、江差三下り、淡海節

★この機会に議場の傍聴もかねて、お気軽にお越しください★

【プロフィール】　石垣　博 さん

H26年　江差追分師匠に認定
H27年　江差追分会より功労賞受賞
H27年　第19回江差追分熟年全国大会優勝
H29年　第12回江差三下り発表大会最優秀賞受賞

議会日程のお知らせ

● 第14回 市議会定例会　※1回の傍聴につき50ポイント。（本会議のみに限ります）

月　日	内　容
2月22日㈭	陳情締切り（17：00まで）
2月23日㈮	本会議（市政方針・議案等審議）
3月1日㈭～5日㈪	本会議（代表質問）
3月6日㈫～13日㈫	一般・企業会計予算審査特別委員会
3月14日㈬	常任委員会
3月15日㈭	特別委員会
3月16日㈮	議会改革検討会 本会議（議案等審議）

※2月23日、3月1日から15日の開始時間は10時(予定)からになります。
（ただし3月16日は未定です）
※日程などについては変更になる場合があります。（土･日･祝日は休会）
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

平昌オリンピック・パラリンピック苫小牧出身選手を応援しよう！

いよいよ平昌オリンピックが開幕し、苫小牧市出身の選手が女子アイスホッケー「スマイルジャパン」に10名、スピードスケートに2名、パラリンピック・パラアイスホッケーには2名が出場します。幾多の試練を乗り越えて、平昌への切符を手にした選手の皆さんには、日頃の練習の成果を十分に発揮し、最高のゲームを繰り広げていただきたいと思います。皆様方の熱い熱い応援をよろしくお願いいたします！

とまこまい市議会だより
編集委員　首藤孝治

とまこまい市議会だより編集委員会
岩田　典一・神山哲太郎・板谷　良久・大西　厚子・工藤　良一
岩田　薫・首藤　孝治・桜井　忠・宇多　春美

次号発行は平成30年5月上旬の予定です。

※この製品は「グリーン購入法」に適合する用紙を使用し、植物油系インキを使用しています。(印刷・製本：北光印刷株式会社)